

# くちや

第450号

平成30年2月1日

発行 口屋跡記念公民館

電話 32-8430



## 宮西校区人口

平成29年12月末日現在

人口 男2,392人

女2,570人

計4,962人

世帯数 2,580世帯

平成29年9月と比較すると

人口 - 22人

世帯数 - 9世帯

# ～三世代交流講座 七草粥～



**七草粥の由来を学ぼう!!**

平成30年1月9日(火)に、宮西小学校家庭科室で4年生を対象にした七草粥講座を実施しました。

最初に神尾実行委員長から、七草の種類や七草粥の由来の説明を受けた後、校区女性部・民生女性委員・宮西小PTAの方と一緒に、七草粥を作りました。その際、七草の昔から伝わる歌を歌いながら包丁でトントンと小刻みに七草を切っていました。そして完成した七草粥をみんなで美味しくいただきました。これで無病息災ま

ちがいなしです。

この講座を通して子どもたちは、七草粥について学び、伝統文化にふれる良い経験が出来たと思います。

寒い中朝早くからお手伝い頂いた皆さま、本当に有難うございました。

♪ 七草なずな、唐土のとりが日本の土地に渡らぬさきに、七草そろえてトントン ♪



## 第58回

### 新居浜市公民館研究大会のご案内

日時: 2月24日(土)  
9時45分～12時00分

#### 大会主題:

『公民館・学校・地域との連携・協働活動』

サブテーマ: ～コミュニティスクールとは?～

場所: 新居浜市文化センター中ホール

※お車で越しの方は市職員駐車場にとめて下さい。(川西ブロックの駐車場)

※参加していただく皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 文化財防火デーに伴う火災防御訓練実施

1月21日(日)近代産業遺産である「別子銅山口屋跡」及びその象徴である「口屋あかがねの松」を火災等から保護するための訓練を実施しました。北消防課職員・新居浜西分団・自治会員・公民館職員等約50名が参加し、真剣に訓練に取り組みました。



### 子どもスポーツ健康教室（平成30年1月9日（火））

宮西小学校体育館で、子どもスポーツ健康教室を実施しました。競技指導は船木の楽スポの指導員5名の方にお願ひしました。教室に参加した子どもたちは、スマイルボーリングや吹き矢等4種目を4組に分かれて行いました。子どもたちは「色々な競技を体験できてとても面白かった！またしたい！」と嬉しそうに話してくれました。



**わくわくしよぎ教室第2弾**  
12月28日（木）地域のしよぎ名人4人の方の指導による子ども対象のしよぎ教室第2弾を実施しました。10名の子どもたちが真剣な眼差しでしよぎのさしかたを覚えようと頑張りました。

### 高齢者講座（ダーツ大会）

1月17日（水）高齢者講座の一環としてダーツ・輪投げ大会を実施しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、参加した皆さんは元気に腕を競い合いました。年2回の実施ですが今後も楽しみながら健康と親睦を兼ねた軽スポーツを実施していきたいと思ひます。



### 食生活改善推進協議会からのお知らせ

今月は、「認知症や転倒予防の正しい知識を身につけよう」をテーマに栄養講習会を開催します。簡単で美味しい食事を作りながら、健康について考えませんか？

日時 2月14日（水）  
実習費実費 500円程度  
場所・申し込み 口屋跡記念公民館  
☎ 32-8430



### ～第33回新居浜凧あげ大会～

平成30年1月21日（日）凧あげ大会がマリンパーク新居浜で開催されました。昨年12月に凧の図案を考え作成しました。今回は宮西校区から3基参加し、1基が「きれい賞」を頂きました。凧が無くてなかなか飛ばすのに苦労したようですが、寒い中頑張って凧を飛ばしたみなさん、本当にお疲れ様でした。



### 2月の行事予定

- 2日（金）少年式（北中学校）
- 3日（土）家庭教育講座
- 4日（日）ミヤリンピック（宮西小学校）
- 8日（木）老人会役員会 9:30～
- 11日（日）建国記念の日（休館日）
- 13日（月）民児協会
- 14日（水）食生活改善推進委員会
- 16日（金）高齢者講座（交通安全教室） 10:00～
- 16日（金）子育てサロンひよっこ（銅夢）
- 21日（水）自治会対抗親睦卓球大会 宮西小体育館
- 24日（土）公民館研究大会（文化センター中ホール）
- 26日（月）ケアネット協議会
- 28日（水）自治会長会
- 28日（水）見守り推進連絡会

★頑張らないゆるゆる体操は毎週火曜日 10時～11時30分

### 編集後記

★今年が平成の時代を締めくくる一年となりますが、平成30年の針路の手懸りは「人生100年」にあるかも、100才越は昨年で約6万8千人20年後には53万人を突破する等と言われてはいますが、はてさて？日本は坂道を下り衰退していくのだろうか、それとも質的転換を果たし、活力ある社会を創ることができるのだろうか？今年がネガティブな言葉（疲れた・無理等の言葉）は発しないようにしっかりと自分をみつめながら悔いのない一年を…と考えておりますが、どうなる事でしょう。本年も市井の悲喜こもごもに寄り添える編集後記になればと熱い思いで職員一同館報発行にも取組みます！！（た）

- 俳句**  
渚句会二月例会より  
寒月光山に忘れし斧が起つ 松本 勇一  
海馬まで届くシンバル遠雪嶺 安藤 和子  
あらたまの尻やもくもく蒙古斑 神楽坂 リンダ  
こころとよく笑う妻二日はや 薦田 のり子  
またあしたとトレモロのよう十一月 近藤 亜沙美  
保健室のストローしゃべらない男子 西原 みどり  
凍蝶や試行錯誤のタブレット 則包 秀子  
古曆素数の年のピンの跡 みうら 朱音  
冬晴や墓に和の文字愛の文字 堀本 芳子